

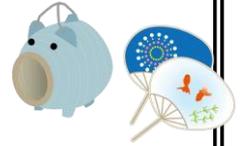


二俣川小だより

7月号

横浜市立二俣川小学校 令和2年6月29日

校長 泉 太郎



第2期（ジョギング）から第3期（ウォーキング）へ

校長 泉 太郎

梅雨らしい天気が続いています。学校は一斉登校・午前授業の第2期に入り、教室も子どもたち全員がそろい笑顔が見られます。体育や音楽・図工・家庭科の学習も始まりました。全員が登校することで、やっと令和2年度が一步踏み出せたように思え安心しています。7月1日からは給食、午後からの授業が始まり、生活リズムはいつもの学校の姿にもどります。第2期のジョギングで体は温まりました。第3期はダッシュ！ではなく、毎日を丁寧に一步ずつのウォーキングでいきたいと考えています。手洗いやマスクの着用等、「あいてますか」の感染症拡大防止により気を付けながら学校生活を進めていきます。保護者の皆様には引き続きお子さんの健康観察、マスクの準備等、ご理解・ご協力をお願いします。

～新型コロナウイルス感染症拡大防止のためだから・・・～

6年生のあるクラスの学級だよりに次のような一節がありました。「小学校生活最後の1年がこのような状況になってしまったことを、不運だと思わないでください。先生と31人の知恵があれば、きっとどのような状況でも楽しくなるはずです。今年一年、みんなで学級を楽しくする方法を考えていきましょう！」温かい気持ちになるのと同時に振り返りをさせられました。この状況の中、学校でも様々な行事が延期・中止になったり、内容を見直し計画・実施したりしていますが、あまりにも簡単に「感染症拡大防止のため」という言葉を使っていないかと。子どもたちにとっては一つ一つが大切な活動になります。特に6年生にとっては小学校生活最後になってしまう行事や活動がほとんどです。それを支える教職員も思いをもって取り組んでいます。やむを得ないことだとはしても、子どもたちの気持ちや思いを考えて伝えていなくてはいけないなと思いました。

～1年生を迎える会～

例年4月に全学年がそろって行う「1年生を迎える会」。新1年生も二俣川小学校の仲間入りですという大切な行事ですが、今年度はテレビ放送で行うことになりました。2年生から6年生の代表の子どもたちが、司会や代表の言葉、メダルのプレゼントをし心温まる会となりました。「困ったときは、わたしたちに聞いてください。」というメッセージが頼もしかったです。その後1年生全員に仲間入りのメダルが渡されました。



2年生からメダルのプレゼント

～白いぼうし～

約3か月間にわたり続いた一斉臨時休校。ご家庭で学習を進める中で、久しぶりにお子さんの教科書を目にされ懐かしさを感じられた保護者の方も多かったのではないのでしょうか。今、4年生が国語で「白いぼうし」を学習しています。「これはレモンのにおいですか。」で始まる、わたし自身も小学校の時に学習し、物語文の中で一番好きな作品です。あまんきみこさんの「車の色は空の色」の中の一話で、本を読む面白さを教えてくれた作品でもありました。今4年生の廊下に、あまんきみこさんの作品を集めたコーナーがあります。学校司書の佐藤先生が学習に合わせ本を選び準備してくれました。子どもたちが、教科書の作品がきっかけとなり、他の作品を読むことを通して読書の楽しさに触れることができるとうれしいです。



